

# 元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール 報告書

2014 Yuanpei University Summer School for Chinese Learning and Healthcare  
Industry Site Visit. Special program for Kyoto College of Medical Science

医療科学部 放射線技術学科 1回生 西川 綾香



台湾はアジアであり、日本とも近いことから、街並みも似ている、親しみやすい国でした。しかし、日本と台湾は全く別の国であり、言語も違えば文化も全く違います。その数ある違いの中でも目立った点は、交通面と、夜市という名前の通り夜に開かれる市場です。1つめの交通面について、台湾の道路を走っているのはバイクばかりでした。台湾の人にとってバイクは必需品であり、台湾の人は日本で言う自転車のように気軽に使える手段として乗っていて、逆に自転車を使っている人は少ないように感じました。そして交通面で驚いたことは、タクシー

料金についてです。平均的に比べると、日本より台湾のほうが安いようです。初乗り料金で2国を比べてみると、日本は730円であるのに対して、台湾(台北市内の場合)は70元(日本円で265.51円1元=3.792991円)です。このように、日本より台湾のほうがタクシー代が安かったので利用しやすいと感じました。そして印象に残った場所は、台湾の病院です。私たちが行った病院には、テレビ局がありました。そのテレビ局ではその病院で放送するためだけの番組を作っていました。実際に収録されたものは、病院内で放送され、病院へ訪れた患者さんがみていました。日本にはない珍しいものだったので、見られてよかったです。

台湾で過ごして一番よかったことは、人と関わることです。上でも述べたように、日本と台湾は言語も文化も全く違います。しかし、私たちは元培科技大学の学生さんたちと、かたことの英語やジェスチャーなどでコミュニケーションをはかりました。理解しあうのは難しかったけれど、私たちが街で中国語がわからず戸惑っていたら、台湾の学生さんが助けてくれたりと、とてもいい友だちをもつことができました。



この1週間はとても短く、とても内容の濃い1週間でした。台湾の人々はとても気さくで、台湾はとてもいいところでした。また、医療に更に関心があったので、この台湾サマースクールに参加することができてよかったです。